

南アルプスの女王 仙丈ヶ岳

山行日： 2019年4月27日(土)
4月29日(日)

行程： 4/27(土) 松戸 0:50=諏訪IC=仙流荘(バス)8:05=歌宿バス停 8:40/9:00-北沢峠-
長衛小屋テント場 11:10 テント泊
4/28(日) 仙丈ヶ岳二合目コース入口 6:50-大滝ノ頭五合目 9:05-小仙丈 10:10/10:25-
仙丈ヶ岳 11:55/12:30-小仙丈 13:20/13:35-仙丈ヶ岳二合目コース入口 15:00
4/29(月) 長衛小屋テント場 7:00-歌宿バス停 9:20/10:15-仙流荘 11:00=松戸 17:00

費用： 交通費(車、駐車代含む、テン場代)約9,500円/1人
バス代(往復) 2,080円
仙流荘 温泉 500円

~~~~3000メートル超、雪山テント泊と色々初めての山行です~~~~

27日(土)曇り一時雨のち、あられ、夜中強風テント飛びそう

GWの渋滞と29日の天気が悪い事を考慮し、予定を一日繰り上げて高瀬邸0:00発となり、高瀬さんにそれぞれメンバーをピックアップしてもらい松戸を出発、渋滞もなく仙流荘(南アルプス林道バス営業所)に到着し、バスで歌宿バス停へ。林道を歩く事、二時間半で長衛小屋テント場に到着する。するとすぐにリーダーが防風壁を作り出す。作り方を教わり、高瀬さんと作ってみるがなかなか上手くいかないが、少しするとコツも分り調子になって積み上げていく(なかなか楽しい)。広谷さんもベニヤ板で作っているがかなり手際がいい(壁職人?)、リーダーと抜群のコンビネーションで積んでいきます。テントを組み立てて竹ペグを埋め張綱を張る。これも初めての作業で抜けたらまずいと思い、めちゃ深く埋め、割りばしに巻いて余った綱も長いまま適当に埋めました。後日テント撤収の掘り出すときに苦労した事は言うまでもありません。

夕食はこれまた手際のいい広谷さんが指揮をとり男性陣はそれに従い(お湯を沸かすだけ)チャプチェ等の美味しい料理を作っていました。

.季節外れの寒波?で雪、風がひどくなり早々と眠りにつきました。

28日 晴れ全開

皆の日頃の行いが良いせい、今日は晴れです。テント場を出発し、山頂を目指します。長い樹林帯が続きます。大滝頭を過ぎると展望が開けてきて、目指す小仙丈ヶ岳が目の前に見え、振り返れば甲斐駒ヶ岳、左手には鳳凰三山、右手には北アルプスの山々。小仙丈ヶ岳に着くと360°の展望です。しばし景色を堪能し山頂を目指します。ここからは素晴らしい尾根歩きです。しばらく登ると、富士山と北岳の上に大きな彩雲が出てました。ここまで大きな彩雲は珍しく、テレビの投稿番組でも取り上げていたそうです。さらに進み、やせた尾根の辺りで念願の雷鳥に会えました。



景色を堪能し山頂を目指します。ここからは素晴らしい尾根歩きです。しばらく登ると、富士山と北岳の上に大きな彩雲が出てました。ここまで大きな彩雲は珍しく、テレビの投稿番組でも取り上げていたそうです。さらに進み、やせた尾根の辺りで念願の雷鳥に会えました。



画像提供：高瀬さん

谷の下の方から鳴きながら登って来て(威嚇?)我々の方に近寄って来て大興奮しました。山頂でも穏やかな天気でゆっくりと昼食もとれました。下山時、リーダーにピッケルによる滑落停止法を教えてくださいました。下山では〇谷さんが先頭を歩きますが、そのスピードには誰もついて行けません(ブースト圧全開です)。下山後、今日は皆でビールで乾杯、最高の瞬間でした。もちろん今宵は宴会です。

29日 晴れ

10時15分の帰りのバスに乗るために、急いで朝食を頂き、テントを撤収、ここでも広谷さんパワー全開で手際良く片付けます。北沢峠から歌宿バス停までまた長い道のりを歩きます。昨日登った仙丈ヶ岳や今度登りたい甲斐駒ヶ岳、鋸岳が良く見えたが、しばらくするとガスの中に隠れてきました。

種蔵さんの天気予測が、ばっちりのおかげで最高の山行が出来ました。広谷さん、食事、土形作業、高瀬さん、車の運転、皆様有り難うございました。



最高の山行でした。